

事業概要【観光交流施設整備によるにぎわい創出事業】

旧制度（拠点）

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	茨城県大子町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,089,369千円 (440,205千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	課題として、人口減少（2050年に▲60%）及び観光客減少により、消費販売額等が▲50%以上（20年前比）となっている。対策として、防災道の駅の機能拡張及び受入体制の強化により、地域特性を活かした賑わいの創出を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【目的・効果】</p> <p>防災道の駅の拡張として観光交流施設を建築し、アウトドアブランドとの連携による地域特性（県内最高峰の山、一級河川、サイクルツーリズム等）を活かしたアウトドアアクティビティの創出・促進や、地域資源・特産品の販路拡大を図る。</p> <p>また、チャットボット等で一部の行政サービスを提供すること、町内で運行しているAIタクシーの発着点に指定することなどにより、来客の利便性向上を図る。</p> <p>【整備内容】</p> <p>用地造成工事 25,021千円</p> <p>観光交流施設建築工事 351,906千円</p> <p>設備工事 51,898千円</p>		
KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+5億6,268万8千円）</p> <p>②主要な観光スポットにおける観光客数（+10万8,445人）</p> <p>③主要な観光スポットにおける周游客数（+11万4,857人）</p> <p>④道の駅（既存含む）における新規雇用者数（+14人）</p>		関連URL —

交付対象事業の名称			
観光交流施設整備によるにぎわい創出事業			
交付対象事業の概要			
<p>防災道の駅としてのキャパシティ・ケイパビリティの向上を図り、賑わいの創出を図る。 既存道の駅の拡張として一体的な運用とすることで、規模の経済性を働かせつつ既存機能との相乗・相補効果を狙う。新たにアウトドアアクティビティの促進やより高付加価値の特産品関連商品の提供は観光交流施設に集約化しつつ、既存道の駅において需要量に対応しきれていない温泉・飲食店・特産品販売等の供給にも対応する。</p> <p>1. テナントスペースの整備</p> <p>(1) モンベルテナントとの連携</p> <ul style="list-style-type: none">観光交流施設へのモンベルテナント設置（室内にクライミングビナクルを設置）誘客力有する町内オートキャンプ場（公営）にて、同社製品の試用・レンタルを実施レンタサイクル事業（県と連携し実施中。Eバイクやキッズバイク含め31台）について、手狭な既存の道の駅から同施設に移設 <p>・現状・課題の分析から始め、国名勝「袋田の滝」、県産木材を活用したバレルサウナ等の観光資源や、県が推進する「常陸国ロングトレイル」、川アクティビティ、山アクティビティ、サイクルアクティビティ等の個別ブラッシュアップ及び全体コーディネート（ツアー化）の検討</p> <p>・誘客のため、町内でのイベント実施・ツアーガイド実施及びそのための人材育成</p> <p>(2) 有名飲食店テナント等との連携</p> <ul style="list-style-type: none">ブランド力・誘客力のある飲食・カフェ店であり県内外に複数店舗を有するコーヒーチェーンと、テナント出店に向け協議中同店のブランドや近隣の駅前中心商店街のリソースを活用しつつ、（一社）大子町振興公社の特産品流通部門が、同店と地元特産品生産者の協業による高付加価値なメニュー開発・提供を推進（町内中高生の参加も調整。さらに、ふるさと納税の返礼品としての販売も視野に入れる）地元JAと連携し、新鮮な特産品を観光交流施設でも販売 <p>(3) FM放送局との連携</p> <ul style="list-style-type: none">令和元年東日本台風で被災後、仮設拠点となっている地域のFM局「FMだいご」を、観光交流施設の2階に移転し設備を増強ブロードバンドの増強により観光客自身が配信コンテンツを作成体験しそれをSNS等にて拡散することも促進 <p>2. 地域資源である大子温泉を活用した足湯の設置</p> <ul style="list-style-type: none">観光交流施設の近隣に埋設されている温泉配湯管を利用し、足湯（10㎡程度）及び給湯・加温システム（加温は冬期のみ）を設置夜間にイルミネーションやレーザーショーを実施 <p>3. 周遊バス及び人力車の停留所の設置</p> <ul style="list-style-type: none">2026年開始予定の観光地周遊キャラクターバス運行を行うための停留所の路面を観光交流施設西側に整備大正・昭和の雰囲気漂う大子町のレトロな街並みを周りつつ、車夫が建造物の歴史の説明を行う人力車を運行するための発着所を整備			
交付対象事業経費（R7年度事業分）		440,205千円	
1	建築物工事	共通費 216,609千円 共通仮設費 29,877千円 現場管理費 99,509千円 一般管理費等 86,825千円 契約保証費 398千円 消費税 108,261千円 (合計) 1,190,870千円	
	直接工事費 866,000千円		
	建築物工事 517,000千円		
	電気設備工事 139,000千円		
	機械設備工事 166,000千円		
	昇降設備工事 42,000千円		
	地域産木材活用 2,000千円		
	建築1年目である令和7年度に要する経費： 継続費40% 林野庁森林環境譲与税重複排除： -800千円 国交省都市構造再編集中支援事業補助対象面積重複排除：（1-0.26）		
	351,906千円		
	2		用地造成工事
直接工事費 28,788千円			
共通仮設費 3,064千円			
現場管理費 11,230千円			
一般管理費 8,148千円			
消費税 5,123千円			
(合計) 56,353千円			
造成2年目である令和7年度に要する経費： 継続費60% 国交省都市構造再編集中支援事業補助対象面積重複排除：（1-0.26）			
25,021千円			
3		設備工事	共通費 31,891千円 ※千円未満も含めて足し上げているため、内訳の合計と不一致。 共通仮設費 4,399千円 現場管理費 14,651千円 一般管理費等 12,783千円 契約保証費 59千円 消費税 15,939千円 (合計) 175,330千円
	直接工事費 127,500千円		
	屋外整備工事 20,000千円		
	高圧受変電設備工事 27,000千円		
	自家発電設備工事 18,000千円		
	浄化槽整備工事 59,000千円		
	足湯設備 3,500千円		
	建築1年目である令和7年度に要する経費： 継続費40% 国交省都市構造再編集中支援事業補助対象面積重複除外：（1-0.26）		
	51,898千円		
	4	工事監理	
工事監理 46,600千円			
消費税 4,660千円			
(合計) 51,260千円			
工事1年目である令和7年度に要する経費： 継続費30% 国交省都市構造再編集中支援事業補助対象面積重複排除：（1-0.26）			
11,380千円			
実施体制			
民間企業、地元FMラジオ局、茨城県、大子町			